表 3 現況調査・予測項目等

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
大気汚染	<p>(1) 大気質の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二酸化硫黄、窒素酸化物（一酸化窒素、二酸化窒素）一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、炭化水素類（非メタン炭化水素）等 ○ 塩素、塩化水素、鉛・カドミウム等の重金属類及びその化合物等の有害な物質 ○ 未規制物質等、その他必要な物質 <p>(2) 気象の状況</p> <p>風向、風速、気温、湿度、日射量（昼間）、放射収支量（夜間）、雲量等</p> <p>(3) 地形、地物の状況</p> <p>(4) 土地利用、施設立地の状況</p> <p>(5) 主要発生源の状況</p> <p>(6) 自動車交通量等の状況</p> <p>(7) 苦情等の発生状況</p> <p>(8) 法令による基準等</p>	<p>大気汚染物質の濃度又は飛散・降下する量</p>	<p>(1) 「大気の汚染に係る環境基準について」¹⁾に定める環境基準</p> <p>「二酸化窒素に係る環境基準について」²⁾定める環境基準</p> <p>(2) 環境基準の設定されていない項目については</p> <p>「人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで、支障をきたさないこと」</p>

1) 「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年環境庁告示第25号）

2) 「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和53年環境庁告示第38号）

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
水質汚濁	<p>(1) 水質等の状況</p> <p>ア 公共用水域の水質</p> <p>カドミウム 全シアン</p> <p>鉛 六価クロム</p> <p>ヒ素 総水銀</p> <p>アルキル水銀 PCB</p> <p>有機塩素化合物 農薬</p> <p>ジクロロメタン 1, 3-ジクロロプロペン</p> <p>四塩化炭素 酢酸</p> <p>1, 2-ジクロロエタン シマジン</p> <p>1, 1-ジクロロエチレン チオベンカルブ等</p> <p>シス-1, 2-ジクロロエチレン</p> <p>1, 1, 1-トリクロロエタン</p> <p>1, 1, 2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン等</p> <p>ベンゼン セレン</p> <p>有機リン 水素イオン濃度 (pH)</p> <p>生物化学的酸素要求量 (BOD) 化学的酸素要求量 (COD)</p> <p>浮遊物質 (SS) 溶存酸素量 (DO)</p> <p>n-ヘキサン抽出物質 (油分等) 大腸菌群数</p> <p>全窒素 全リン</p> <p>フェノール類 銅</p>	<p>(1) 水質の濃度等</p> <p>(2) 底質の濃度等</p> <p>(3) 地下水の水質の濃度等</p>	<p>(1) 公共用水域の水質</p> <p>ア 「水質汚濁に係る環境基準について」³⁾ に定める環境基準</p> <p>なお、環境基準が設定されていない水域については、現況水質、利水目的等を考慮して、項目のあてはめを想定する</p> <p>イ 環境基準の設定されていない項目については</p> <p>「人の健康の保護並びに生活環境及び自然環境の保全上支障を及ぼさないこと」</p> <p>(2) 公共用水域の底質</p> <p>「底質の悪化をまねかないこと」</p> <p>(3) 地下水の水質</p> <p>「地下水の水質の悪化をまねかないこと、及び地下水の利用に支障を及ぼさないこと」</p>

3) 「水質汚濁に係る環境基準について」

(昭和 46 年環境庁告示第 59 号)

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
水質汚濁	亜鉛 溶解性マンガン フッ素 亜硝酸性窒素 アンモニア性窒素 陰イオン界面活性剤 臭気 イ 公共用水域の底質 カドミウム 有機リン 六価クロム 総水銀 P C B 有機塩素化合物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン等 農薬 全窒素 n-ヘキサン抽出物質（油分等） 化学的酸素要求量（COD） 乾燥減量 酸化還元電位 色	溶解性鉄 クロム ほう素 硝酸性窒素 有機性窒素 色 水温等 シアン 鉛 ヒ素 アルキル水銀 総クロム 全リン 水素イオン濃度（pH） 硫化物 強熱減量 粒度分布 臭気等	

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
騒音	(1) 騒音の状況 ○ 環境騒音の騒音レベル ○ 騒音発生源別の特定騒音の騒音レベル (2) 土地利用、施設立地の状況 (3) 自動車交通量等の状況 (4) 主要発生源の状況 (5) 苦情等の発生状況 (6) 法令による基準等	騒音レベル	(1) 騒音（航空機騒音、鉄軌道モノレール騒音、建設作業騒音を除く） 「環境騒音」 ⁴⁾ (2) 航空機騒音 「環境基準」 ⁵⁾ 「小規模飛行場環境保全暫定指針について」 ⁶⁾ に掲げる指針値 (3) 鉄軌道モノレール騒音、建設作業騒音 「地域住民の生活環境に著しい影響を及ぼさないこと」
振動	(1) 振動の状況 ○ 環境振動の振動レベル ○ 振動発生源別の特定振動の振動レベル (2) 地盤の状況 (3) 土地利用、施設立地の状況 (4) 自動車交通量等の状況 (5) 主要発生源の状況 (6) 苦情等の発生状況 (7) 法令による基準等	振動レベル	「地域住民の生活環境に著しい影響を及ぼさないこと」

4) 「騒音に係る環境基準について」（昭和46年5月25日閣議決定）

5) 「航空機に係る環境基準について」（昭和48年環境庁告示第154号）

6) 「小規模飛行場環境保全暫定指針について」（平成2年9月13日環境庁大気保全局長通知）

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
低周波空気振動	<p>(1) 低周波空気振動の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音圧レベル ○周波数特性 <p>(2) 土地利用、施設立地の状況</p> <p>(3) 主要発生源の状況</p> <p>(4) 苦情等の発生状況</p>	(1) 音圧レベル	「大部分の地域住民が日常生活において影響を受けないこと」
悪臭	<p>(1) 臭気の状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臭気濃度 ○ 悪臭物質濃度 <p>アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、スチレン、ノルマル酪酸、イソ吉草酸、ノルマル吉草酸、プロピオン酸等</p> <p>(2) 気象の状態</p> <p>風向、風速等</p> <p>(3) 地形、地物の状況</p> <p>(4) 土地利用、施設立地の状況</p> <p>(5) 主要発生源の状況</p> <p>(6) 苦情等の発生状況</p> <p>(7) 法令による基準等</p>	<p>(1) 臭気濃度の瞬時値及びその出現頻度</p> <p>(2) 悪臭物質の瞬間濃度及びその出現頻度</p>	「大部分の地域住民が日常生活において感知しない程度であること」

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
土壌汚染	(1) 土壌の汚染状況 カドミウム、シアン、有機リン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、銅、その他重金属等土壌汚染物質 (2) 地歴 (3) 土地利用の状況 (4) 地形・地質等の状況 (5) 主要発生源の状況 (6) 気象の状況 (7) 水利用の状況 (8) 法令による基準等	汚染物質の土壌中の濃度	(1) 「土壌の汚染に係る環境基準について」 ⁷⁾ に定める環境基準 (2) 環境基準の設定されていない項目については 「人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで、支障をきたさないこと」
地盤沈下	(1) 地盤沈下の状況 地盤沈下量等 (2) 地下水の状況 (3) 地盤の状況 (4) 水象・気象の状況 (5) 上水道供給状況 (6) 土地利用の状況 (7) 法令等の規制状況	(1) 地盤沈下量又は地盤沈下の生じる範囲とその程度 (2) 地下水位の変化量又は地下水位低下の生じる範囲とその程度	「地盤沈下を進行させないこと」

7) 「土壌の汚染に係る環境基準について」(平成3年環境庁告示第46号)

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
動植物	(1) 動植物の状況 ほ乳類、鳥類、は虫類、両生類、昆虫類、水生動物等の 生息・分布状況 (2) 植物の状況 陸生植物・水生植物の植物相、植物群落 (3) 動物の生息環境の状況 (4) 植物の生育環境の状況 (5) 動植物の生息・生育に影響を与える諸条件の状況 (6) 法令等の規制状況	(1) 動物の生息状況の変化 (2) 動物の生息環境の変化 (3) 動物とその生息環境との相互関係の変化 (4) 植物の生育状況の変化 (5) 植物の生育環境の変化 (6) 植物とその生育環境との相互関係の変化	「動植物の生息生育環境を保全するとともに、周辺地域の生態系に著しい影響を及ぼさないこと」
緑の量	(1) 緑被の状況 緑被率等 (2) 緑の景観の状況 ○ 緑の分布及びその内容 ○ 代表的な眺望地点及び眺望の状況 (3) 地形の状況 (4) 土壌の状況 (5) 土地利用の状況 (6) 法令等の規制状況	(1) 緑被の状況の変化及びその程度 (2) 緑の消失、減退、回復の程度及びその眺望の変化	「緑の現状を生かし、かつ回復育成を図ること及び緑の景観との調和に配慮されていること」

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
廃棄物	(1) 廃棄物処理の状況 (2) 土地利用の状況 (3) 人口、産業の状況 (4) 法令等の規制状況	(1) 廃棄物の種類別発生量、処理内容 (2) 建設残土の発生量、処理内容	「地域住民の日常生活に著しい影響を及ぼさないこと」
日照障害	(1) 日照の状況 日影の範囲、日照時間 (2) 地形の状況 (3) 土地利用、施設立地の状況 (4) 法令等の規制状況	(1) 冬至日における時刻別日影及び等時間日影の範囲及び程度 (2) 冬至日以外の日の時刻別日影、等時間日影の範囲及び程度 (3) 主要な地点における日照の状況の変化の程度	「地域住民の生活環境に著しい影響を及ぼさないこと」
電波障害	(1) テレビ受信状況 (2) テレビ電波の状況 (3) 地形の状況 (4) 土地利用、施設立地の状況	(1) 建築物又は高架構造物の設置によるしゃへい障害及び反射障害が及ぶ地域の範囲 (2) 列車の走行によるパルス雑音障害及びフラッター障害が及ぶ地域の範囲及びその発生頻度 (3) 航空機の飛行によるフラッター障害が及ぶ地域の範囲及びその発生頻度	「地域住民のテレビ受信等に著しい影響を及ぼさないこと」

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
風害	(1) 風の状況 (2) 地形の状況 (3) 土地利用、施設立地の状況	(1) 地表付近の平均風速の変化 (2) 地表付近の平均風向の変化 (3) 強風の発生頻度、発生場所	「地域住民の生活環境に著しい影響を及ぼさないこと」
景観	(1) 代表的な眺望地点及び眺望の状況 (2) 地域景観の特性 (3) 土地利用の状況 (4) 関連計画及び関連事業等の状況 (5) 法令等の規制状況	(1) 代表的な眺望地点の改変の程度及び代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度 (2) 主要な景観構成要素の改変の程度及びその改変による地域の景観の特性や雰囲気の変化の程度	「すぐれた景観及び眺望地点がある場合は、その保全を図ること及び施設の外観が周囲の景観に調和し、その雰囲気を損なわないこと」
安全性	(1) 交通安全 <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路現況、交通安全施設、道路交通規制等 ○ 通学路の状況、小学校等教育施設の位置等 ○ 交通事故発生の位置、状況及び件数 (2) 斜面崩壊 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地形分類、人工改変地の状況等 ○ 地質分類、地下水、湧水の状況等 ○ 過去の斜面崩壊発生の位置、状況等 (3) 危険物等 <ul style="list-style-type: none"> ○ 危険物、可燃物の種類、高圧ガス、保管量等の状況 ○ 地下埋設物の種類、位置等の状況 ○ 安全確保のための対策、緊急時の措置及び連絡体制等の状況 (4) 土地利用、施設立地の状況 (5) 法令等の規制状況	(1) 交通安全 <ul style="list-style-type: none"> 車両の発生・増加が交通安全に与える影響とその程度 (2) 斜面崩壊 <ul style="list-style-type: none"> 土地の改変による斜面崩壊の可能性の程度 (3) 危険物等 <ul style="list-style-type: none"> 危険物の爆発、火災、漏洩の可能性の程度 	「地域住民の安全性が十分保障されること」

環境項目	現況調査項目	予測項目	環境保全目標設定の指標
コミュニティ	(1) コミュニティの状況 (2) コミュニティ施設の状況 (3) 社会状況 土地利用、人口、交通等 (4) 法令等の規制状況	(1) 対象事業の実施による地域分断がコミュニティ及びコミュニティ施設の利用の及ぼす影響とその程度 (2) 事業完了後の人口増が、コミュニティ及びコミュニティ施設の利用に及ぼす影響とその程度 (3) 対象事業の実施による交通の状況変化が、コミュニティ及びコミュニティ施設の利用に及ぼす影響とその程度	「コミュニティ形成の促進に寄与し、コミュニティ施設の有効な活用が図れ並びにそれらに著しい支障を生じさせないこと」
歴史的環境	(1) 文化財の状況 ○ 文化財保護法等に基づいて指定された文化財の種類、位置又は区域、指定区分、文化財の概要及び保存状態 ○ 指定されていない文化財で、文化財保護法等に基づく指定区分に合致する文化財の種類、位置又は区域及び文化財の概要 ○ 文化財の周囲の地形・地質、植生、景観等 (2) 埋蔵文化財包蔵地の状況 ○ 周知の埋蔵文化財包蔵地の位置、区域、埋蔵文化財の概要及び土地利用状況 ○ 周知されていない埋蔵文化財包蔵地の存在の有無及びその区域の概略 (3) 法令等の規制状況	(1) 文化財の状況 ア 対象事業の実施が文化財に及ぼす影響とその程度 イ 対象事業の実施が文化財の周囲の状況に及ぼす影響とその程度 (2) 埋蔵文化財包蔵地の状況 対象事業の実施が埋蔵文化財包蔵地に及ぼす影響とその程度	「文化財を保護し、歴史的・文化的環境を保全すること」